

I D	外来・入院(号)	
氏 名	性別	
生 年 月 日	年 月 日 (歳)	

化学療法指示書 (SOX+アバスチン)
1クール21日 (2週投与1週休薬) 結腸・直腸癌

第 () クール

主治医		CCr	ml/min
身長	cm	腎機能	正常/異常
体重	kg	肝機能	正常/異常
体表面積	m ²		

TS-1 day 1~14内服 day 15~21休薬 投与量はCCr考慮
投与量80mg/m²/day

体表面積	1日用量
1.25m ² 未満	80mg (20mg 4C)
1.25m ² 以上1.5m ² 未満	100mg (25mg 4C)
1.5m ² 以上	120mg (20mg 6C)



朝・夕
分2

エルプラット day 1 点滴静注
投与量 (130mg/m²) = () mg

27	中心静脈注射	98	無菌(悪性腫瘍剤)
39	埋込型カテーテルによる中心静脈	33	外来化学療法加算

サイン			
Pr	Dr	Ns	医事

年 月 日 (day 1~14)		
内服処方 TS-1 () mg () cap 2 × (14) MA		処方箋にて入力

年 月 日 (day 1)	
---------------	--

[:]	プライミング				
	大塚生食注20mL 1A 303601				
[:]	ボトル① (20分)	ボトル①			
	アロキシバッグ 1袋	20分			
	デキサート注6.6mg 1V				
[:]	ボトル②	ボトル②			
	生理食塩液100mL 1V 310116	Dr 指示 時間 で			
	アバスチン () mg 7.5mg/kg 体重				
	アバスチン100mg () V 310323				
	アバスチン400mg () V 310403				
	計100mlとなるように調製 初回90分 <input type="checkbox"/> 2回目60分 <input type="checkbox"/> 3回目30分 <input type="checkbox"/>				
[:]	ボトル③ (10分)	③			
	大塚生食注50mL 1V 303605				
[:]	ボトル④ (120分)	ボトル④			
	大塚糖液5%500mL 1V 310103	120分			
	エルプラット () mg (130mg/m ²)				
	エルプラット50mg () V (310586)				
	エルプラット100mg () V (310587)				
[:]	ブドウ糖液5%20mL 1V 310117				
	ヘパリンNaロックシリンジ 1V 306605				

	検査データ	バイタル	副作用チェック	看護記録
月 日 (day)		前 中 後	嘔気嘔吐 血管炎 排便状態 発熱 末梢神経障害	サイン

投与基準

- 白血球3500以上、ヘモグロビン値9.0g/dL以上、血小板10万/mm³以上
 - 下痢・発熱・CRP上昇、WBC12000以上は延期
 - 総ビリルビン値1.5mg/dL以下、AST、ALT施設基準の2.5倍未満
 - クレアチニンクリアランス60mL/min以上
 - ECOG Performance Status(PS)score 0～2であること
- 以上4件は文献から引用しており明確に定められたものではないため、あくまで参照とすること。
- 日常生活に支障をきたす機能障害を呈する末梢神経症状→回復するまで投与延期

主な副作用

- 過敏症・アナフィラキシー様症状:エルプラット
(投与開始後から2時間/皮疹発現の次回投与時/初回から5～6回目投与)
- 手・足・口・喉の周りのしびれ、痛み、感覚異常などの末梢神経症状(体を決して冷やさないこと！！)
- 消化器症状(吐き気・嘔吐・食欲不振・下痢)
- 骨髄抑制(投与後7～10日目)
- 発熱・疲労感
- 間質性肺炎

アバスチン

- 高血圧・高血圧性脳症・高血圧性クレーゼ(血圧を定期的に測定すること・高血圧症の患者は要注意を！！)
 - 蛋白尿・ネフローゼ症候群
 - 粘膜出血(鼻血・歯肉出血・腔出血)
 - 消化管穿孔(突然強い腹痛を訴えたら要注意！！すぐに主治医に連絡を)
 - 創傷治癒遅延
(OP前6～8W以前から中止,OP後4W以降で開始 又、CVポート造設後7日以上経過していること確認)
 - 腫瘍関連出血(初期症状:下血・喀血・意識障害・頭痛等)
 - 血栓塞栓症(脳梗塞・心筋梗塞・深部静脈血栓症)
- ※詳しくは「エルプラット注射用ガイド」,「アバスチン薬剤取り扱い説明書」参照

調整および投与時の注意事項

エルプラット

- 溶解は5%ブドウ糖で行うこと。
- ※血管外漏出に注意して下さい。(炎症性薬剤)
- ※漏出対応時、冷却は禁止！！

アバスチン

- 溶解は必ず生理食塩水で行うこと。
- 泡立ちやすいため、調整時は注意。